

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	市民活動災害補償保険事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	コミュニティ課			
施策	2-6	市民の主体的連帯活動に支えられたコミュニティの推進		主管課長	樋口 洋徳			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内で市民活動を行っている市民等	意図	市民等が安心して市民活動に参加できるようにする。
事業内容	市民等が安心して市民活動に参加できるように災害補償保険に加入する。			
事業開始から現在までの状況変化	各課の事業でそれぞれ加入していた保険を集約した。その後、当初の各種団体の活動の推進という目的を達成したことから、スポーツ等趣味的活動は対象外とし、公益性のある直接的活動を対象とすることとなった。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	事故報告	1	5	5	件	↓↓↓
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	各団体の保険料負担をなくすことにより、コミュニティ活動の推進に寄与している。	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	保険対象の事故が発生した場合、当該団体に対して再発防止に向けての改善策の提出を求めている。
--------------------	--	-----------------------------------	---

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,386,720	1,047,960	888,990
事業費(b)(円)	1,043,470	712,360	559,390
うち一般財源	1,043,470	712,360	559,390
職員給与費(c)(円)	343,250	335,600	329,600
人役・職員(人)	0.05	0.05	0.05
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	市民活動災害補償保険を周知する。	③取組における課題(Check)	構成員の高齢化に伴い事故発生確率が上昇してしまう。
②H30に実施した取組(Do)	事故が発生した団体から事故防止改善策の提出を求め、受領した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	市民活動災害補償保険制度に関する説明資料を整理し、より分かり易い情報発信による本保険制度の周知を図る。